

伏見小だより



伏見っ子

令和元年度 12月号

R元. 11. 29 発行

学校の教育目標

よく考え仲間とかかわって行動できる子

地域に生きる

校長 佐野 政紀

「私のできることを生かし、町民運動会や伏見のお祭り等で、
私がおじいちゃんになるまでこの役割『音響』を努めます」。



伏見公民館文化祭で『音響』を担当されながら、ギターと歌の披露をされた里に在住の谷口真也さんの発した言葉です。



全国学力・学習状況調査の児童質問紙「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に「当てはまる」と回答している本校の児童は51.4%（全国37.2%）です。

一方、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に「当てはまる」と回答している児童は8.1%（全国18.9%）です。この結果を受けて、私たち大人が子どもたちに何を語りかけたり、行動で示したりすることが望ましいのかが問われています。

地域や各種団体の方々とふれあいながらふるさと伏見の歴史や自然を学ぶ中で、地域に生きる先達の生き方や、郷土を愛する気持ちにふれ、その思いを考えることを通して、ふるさととの未来に対して思いを馳せ「ふるさとを愛する」心を繋ぐことができるのではないかと考えています。

伏見小

検索

【今年も◎】 御嵩町菊の花推進協議会 菊花展にて「中日賞」「学校特別賞」をいただきました。